

東日本大震災をテーマに「アジア研パワー・ランチ (APL)」開催

8月14日、アメリカパデュー大学ダニエル・オールドリッチ准教授をお招きし、“Disaster Resilience and Recovery in Japan”をテーマとして、アジア研パワー・ランチ (AJIKEN Power Lunch、略称 APL) を開催しました。先ずオールドリッチ教授より、東日本大震災の危機管理・復興において、地域コミュニティや人的ネットワークなどのソーシャル・キャピタルが果たす役割について報告されました。続く質疑応答では、避難時における住民の相互扶助と日常の交流関係、日本のソーシャル・キャピタル測定に適したデータや手法、復興状況に関する継続的な調査の必要性など、様々な議論が行われました。



～アジア研パワー・ランチには、研究所外からもご参加頂けます～

APLは2006年秋以降、毎週木曜日の昼休みにアジア経済研究所にて開催される、研究発表と意見交換の集まりです。アジア経済研究所研究員の他、日本内外の研究機関や大学から講師をお招きし、途上国・新興国に限らず、日本を含めた世界各国の経済、政治、社会に関する多様な問題が議論されます。APLは外部公開（一部除く）されており、皆様のご参加をお待ち致しております。各回テーマについては、アジア経済研究所ホームページより、「イベント・セミナー情報」をご覧ください。

(日本語) <http://www.ide.go.jp/Japanese/Event/> (英語) <http://www.ide.go.jp/English/Events/>

研究成果の活用事例ご紹介 ～通商白書2014～

『アジア動向年報』などアジア経済研究所の研究成果が、6月24日に公開された経済産業省『通商白書2014』にて参照されています。その中から、ジェトロ・アジア経済研究所による出版物・レポートをご紹介します。

- ・『アジア動向年報』各年
- ・佐藤百合 (2014) 「成長を志向する経済政策」(塚田学・藤江秀樹編著『インドネシア経済の基礎知識』第3章) JETRO
- ・近田亮平編 (2013) アジ研選書 No. 34 『躍動するブラジル—新しい変容と挑戦—』アジア経済研究所
- ・近田亮平 (2013) 「ブラジルにおける現金給付政策—中間報告」(宇佐見耕一・牧野久美子編 調査研究報告書『現金給付政策の政治経済学 (中間報告)』第4章) アジア経済研究所
- ・星野妙子 (2010) 研究双書 No. 587 『メキシコのビジネスグループの進化と適応—その軌跡とダイナミズム—』アジア経済研究所
- ・東茂樹 (2001) 「産業政策—経済構造の変化と政府・企業間関係—」(末廣昭・東茂樹編 研究双書 No. 502 『タイの経済政策—制度・組織・アクター—』第3章) アジア経済研究所
- ・谷浦妙子編 (1994) 研究双書 No. 443 『産業発展と産業組織の変化：自動車産業と電気電子産業』アジア経済研究所
- ・加賀美充洋・細野昭雄編 (1991) 研究双書 No. 412 『ラテンアメリカの産業政策』アジア経済研究所

アジア経済研究所の新刊、定期刊行物、単行書、報告書・レポート類、統計資料に関する情報は、研究所ホームページ「出版物・報告書」からご覧になれます。

<http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/index.html>